

情報公開文書

研究課題名	病理診断にもとづく成人ランゲルハンス細胞組織球症（LCH）の疫学研究
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 （責任研究機関： 東京大学医科学研究所 ）
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>東京大学医科学研究所</u> <u>分子療法分野/血液腫瘍内科</u> 氏名 <u>東條 有伸</u> 当 院 所属 <u>病理部</u> 氏名 <u>伊藤 以知郎</u>
研究期間	（西暦） 倫理委員会承認日 ～ 2021年 3月
研究の概要	（研究の意義・目的） 成人発症のランゲルハンス細胞組織球症（LCH）は欧米の報告による百万人当たり約2例と推定されていますが、我が国ではまとまった報告がないためにその発症率や症状、治療方針、予後などの臨床情報はほとんど知られておりません。そこで厚生労働科学研究費補助金難治疾患等政策研究事業「特発性造血器障害調査研究班」では、東京大学医科学研究所を研究代表施設とし、成人 LCH の臨床像を明らかにすることを目的として全国規模でその実態を調査することになりました。 当院もこの疫学研究に参加します。これまで受診された成人 LCH 患者さんの背景・診療科・生検部位・病変組織の免疫組織染色所見などの診療情報を収集して臨床データの資料を作成し、他機関で収集したデータと併せて解析します。なおこの研究は長野赤十字病院生命倫理委員会の承認を得て、当院病院長の許可を受けて実施されます。 （研究方法） 当院で診療を行った成人 LCH 患者さんの診療情報をもとに必要な臨床データを、東京大学医科学研究所に提供し、他協力施設で収集したデータと併せて本邦の成人 LCH の臨床像を明らかにします。
試料・情報	（試料・情報の項目） カルテデータ（診断年月日、性別、年齢、生検部位、病変組織の免疫組織染色所見、診療科等）
研究対象者	2013年1月から2018年12月までに診療目的で当院に紹介あるいは当院で診断した成人 LCH の患者さんを対象としています。ご協力いただきたいことは、該当する患者さんの2018年12月末までの診療情報を本研究に使わせていただくことです。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。

お問い合わせ先

〒380-8582

長野県長野市若里五丁目22番1号

長野赤十字病院

所属 病理部 氏名 伊藤 以知郎

TEL : 026-226-4131 (代表)

FAX : 026-228-8439